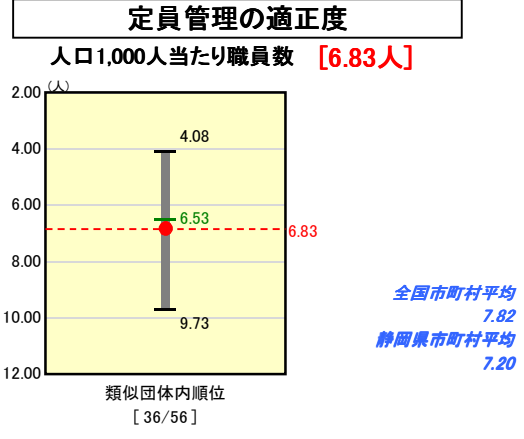
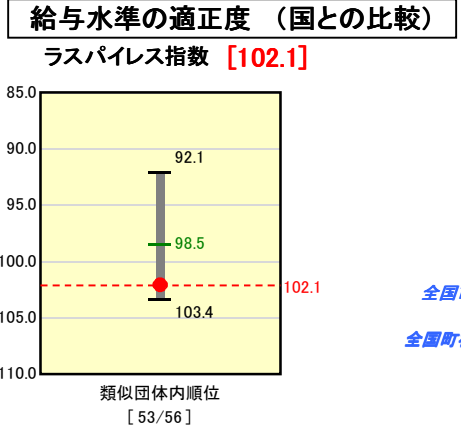
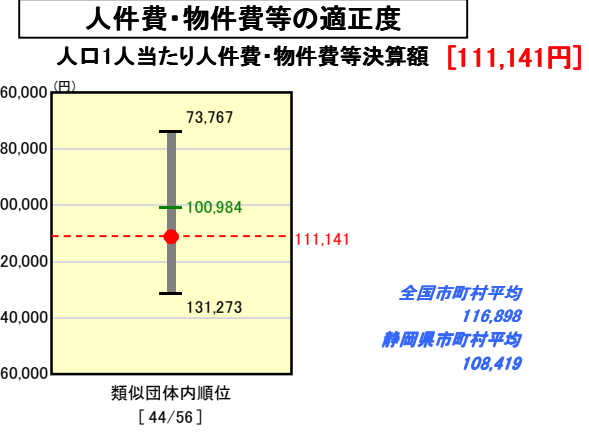
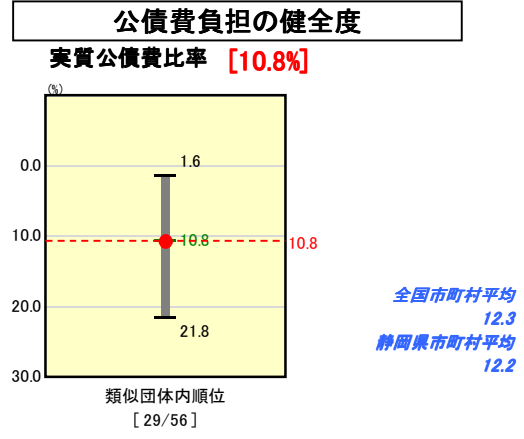
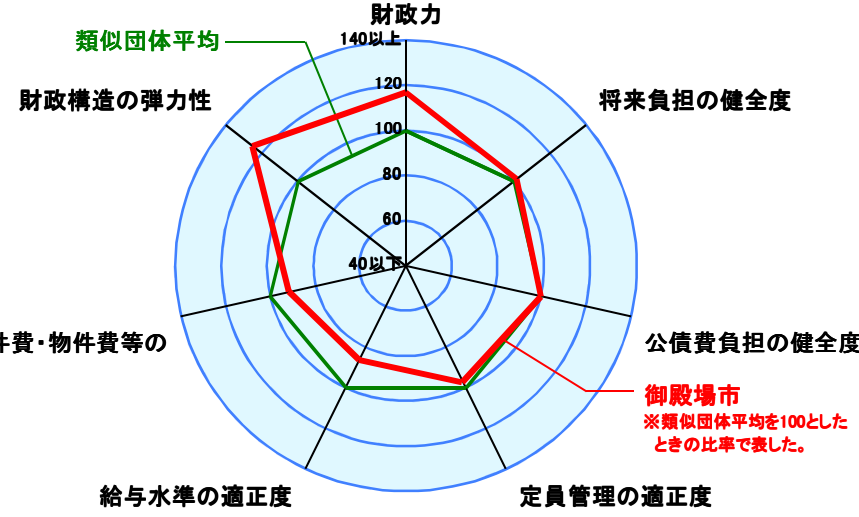
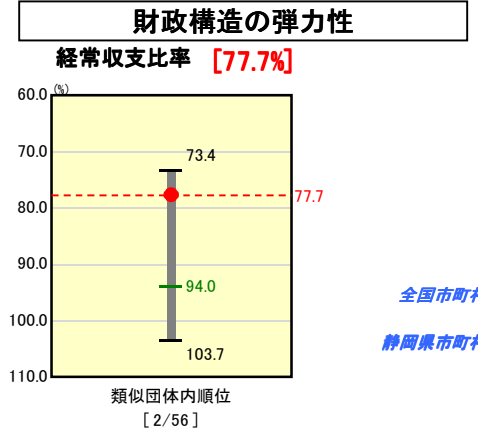
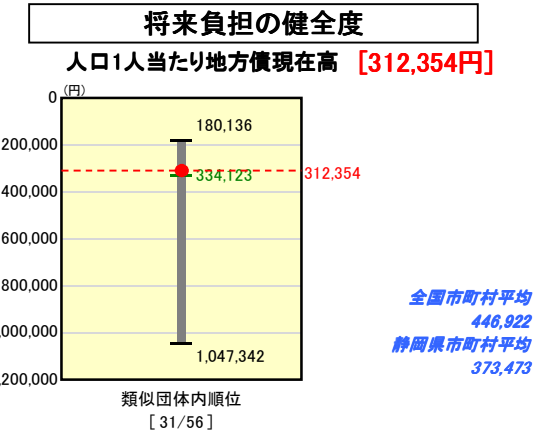
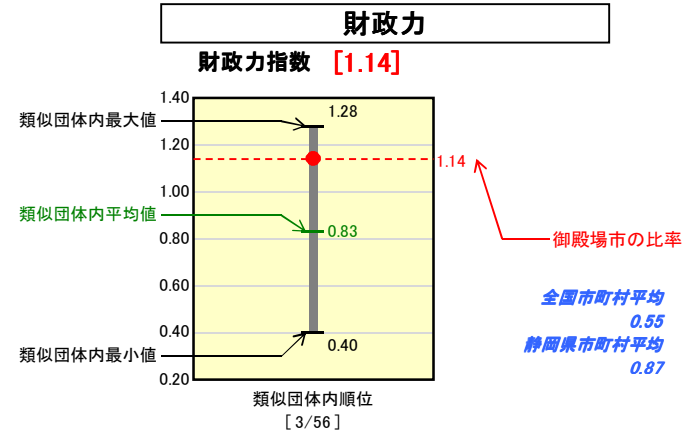


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

静岡県 御殿場市

人口	86,788 人(H20.3.31現在)
面積	194.63 km ²
歳入総額	33,769,806 千円
歳出総額	32,208,951 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
 ※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
 ※ラスパイレ指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
 ・大型事業所の集中等により類似団体平均を上回る税収があるため、1.14となっているが、安定した財政運営を図るため、集中改革プランに基づき、市税収入の確保を図るなど自主財源の確保に努め、また定員適正化計画に基づく職員数の削減による人件費の削減や事業の集中化、効率化により歳出削減に努める。

経常収支比率
 ・類似団体では上位であり、平均値より16.3ポイント低い水準にある。しかしながら、近年公債費や扶助費等が増加傾向にあるため、比率も上昇傾向にあり、今後の指郷が悪化する懸念がある。市税や使用料等の自主財源の確保に努めるとともに、人件費の削減などの財政改革に積極的に取り組み、現在の水準を維持・向上させる。

ラスパイレ指数
 ・給与構造改革を実施したが、現給保障を行っているため、類似団体平均を上回る102.1となっている。年末年始勤務手当の廃止等諸手当の見直しや平成21年度までの5年間で職員数を5.3%(36人)の削減を目標とする定員適正化計画を現在実施中であり、より一層の給与の適正化に努める。

実質公債費比率
 ・従来からの起債抑制策により、類似団体のほぼ平均値だが、今後大型事業が計画されるなど公債費の増額が見込まれるため、中長期にわたる財政健全化を図るべく起債計画や財政計画を策定し、実質公債費比率の過度な上昇を抑え、財政の硬直化を防ぐ。

人口1人当たりの地方債現在高
 ・類似団体の中では平均をやや下回るが、今後大型事業が計画されるなど公債費の増額が見込まれるため、中長期にわたる財政健全化を図るべく起債計画や財政計画を策定し、他事業における地方債の発行の抑制等により、類似団体平均を上回ることがないように努める。

人口1,000人当たり職員数
 ・類似団体の職員数平均を若干上回っているが、大量退職を迎えている中、職員の年齢構成の平準化や人材の確保等についても考慮し、組織機構改革、事務事業の見直しや民間委託の推進により、平成21年度までの5年間で職員数を5.3%(36人)の削減を目標とする。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
 ・類似団体平均を上回っているのは、主に物件費を要因としており、これは施設の管理・運営業務の多くに指定管理制度を導入したことによる。また、類似団体に比べ、事業費支弁人件費が約2倍であることも要因の一つとなっている。なお、平成19年度から経常的経費の5%削減を続けており、今後もコストの低減に努める。